

■日時 平成26年8月20日(水) ■天候 晴れ

星槎国際高校・福岡中央・通 対 埼玉県立川越工業高校

■球場 府中市民球場 第1試合 2回戦

■試合時間 1時間46分 ■備考 5回コールド

■審判 球審:鹿野 塁審:嶋田 石塚 渡辺真

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	安	失
川越工	埼玉	4	0	0	8	0					12	5	2
星槎国際・福岡中央・通	福岡	0	0	0	0	0					0	5	2

川越工

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	4	5	6	7	8	9			
1	二	吉満尚毅	3	2	1	2	四球	三振		中失	中2								
2	遊	越阪部靖裕	2	2	0	0	四球	三ゴ		死球	三失								
3	捕	川上諒	2	1	0	0	一飛	死球		死球	三振								
4	投	三浦奨平	3	1	0	1	中飛	二ゴ		四球		一ゴ							
5	中	甲斐稜次	1	1	1	2	右本			死球									
5	左	大岡飛来	2	0	0	0				捕邪		三振							
5	左	小澤健二	0	0	0	0													
6	一	松田健太	3	2	2	1	四球		三振	遊安		右安							
7	三	栗林佑哉	2	1	1	1	四球		遊安	四球		遊ゴ							
8	右	中村剛	1	1	0	1	死球		遊飛	四球									
9	左中	能登谷錬	1	1	0	0	遊ゴ			四球	四球								
合計			20	12	5	8	残塁:7 併殺:0												

備考

■バッテリー

投手
三浦奨平

捕手
川上諒

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
三浦奨平	5	19	5	4	0	0

星槎国際・福岡中央・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊投遊	正内愁三	3	0	1	0	中飛		遊安		遊ゴ								
2	捕	結城晃司	2	0	0	0	投飛		投ゴ										
3	投左	加藤亮	2	0	1	0	右安		三振										
3	左	中尾駿平	0	0	0	0													
4	三	井上誠	2	0	1	0	右安			三振									
5	中遊投	高谷祐太	2	0	0	0	三振			一失									
6	左中	石井孝充	2	0	0	0		三ゴ		遊併									
6	中	土屋克也	0	0	0	0													
7	二	瀬戸信太郎	2	0	2	0		右安			左安								
8	右	塩田優貴	1	0	0	0		二併											
8	右	古賀匠悟	1	0	0	0					三振								
9	一	大寶拓也	2	0	0	0			二飛		二ゴ								
合計			19	0	5	0	残塁:4 併殺:2												

備考

■バッテリー

投手
加藤亮
正内愁三
高谷祐太

捕手
結城晃司

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責
加藤亮	1	9	1	0	5	4
正内愁三	2 2/3	19	3	2	9	0
高谷祐太	1 1/3	6	1	2	0	0

■戦評

2回戦府中球場の第1試合は乱打戦となった1回戦を終盤の逆転で制した星槎国際高校福岡中央通信制と5年ぶり2回目出場の埼玉県代表・県立川越工業高校の対戦となった。初回先攻の川越工業は今大会初登板となる相手先発加藤の立ち上がりを攻め二つの四球と盗塁で無死二三塁とするとボークの間1点を先制する。二死後5番甲斐の2点ランニング本塁打で追加点を上げるとこの後もう1点加え4-0とし試合の主導権を握る。その裏星槎国際・福岡中央は二死から3番加藤4番井上の連打に敵手が重なり二三塁と好機を作るが後続が三振に抑えられ無得点に終わる。2回から救援した星槎国際・福岡中央2番手正内は2回3回を無失点に抑えるが連投の疲れから4回になると制球が定まらなくなる。川越工業はこの好機を逃さず2本の適時打と二つの押出四球など打者13人の猛攻で一挙8点を上げ試合を決めた。川越工業先発三浦は星槎国際・福岡中央打線を5安打無四球に抑える好投を見せ5回コールド12-0で川越工業が勝利しベスト8に進出した。一方星槎国際・福岡中央は川越工業と同じ5安打を放つも二つの併殺を喫すなど打線が最後までかみ合わず大差での敗退となってしまった。